

開催概要

旅行・観光業界向けに、旅行市場の動向分析と新しい志向・潮流の紹介を軸に、当財団が毎年暮れに継続実施しているセミナー。参加者には、前年の旅行市場の動向をまとめた『旅行年報』、観光産業を代表する方々へのアンケート調査に基づく『旅行の見通し』の2点の財団刊行物の配布も行う。2001年度は、「2002年の旅行動向見通し」「若者が旅館に求めるものは？」の2件の財団報告と、「人は旅行に何を求めるのか、どうすれば旅行者に満足を与えられるか」をテーマとしたパネル討論を軸に行われた。

担当者 / 小林英俊 寺崎竜雄 種田守孝 久保田美穂子 巻山隆

日時：平成13年12月25日 13:30～17:00

場所：経団連会館 11F 国際会議場（東京 大手町）

主催：財団法人日本交通公社

プログラム

●第1部 財団報告

「2002年の旅行動向見通し」

(財) 日本交通公社 観光マーケティング部 主任研究員 寺崎竜雄

低迷が続くわが国の経済環境や米国同時多発テロの発生など、経済社会情勢の混迷は旅行業界にも多大な影響を及ぼしています。

ここでは、観光産業を代表する方々へのアンケートなどをもとに分析した「2002年の旅行見通し」について解説します。あわせて、全国約2,000サンプルのアンケート調査に基づき、現在の旅行市場の特徴と今後の旅行者の志向について解説しました。

「若者が旅館に求めるものは？」

(財) 日本交通公社 観光マーケティング部 研究員 久保田美穂子

20代、30代を中心とした独身層では旅館の利用割合が他の年齢層に比べ低くなっています。また、これらの層がさらに加齢しても、宿泊施設に旅館を選択するかどうか、今後の動向も危惧されることです。

これからの旅館のあり方を探る上でも、彼ら・彼女らの旅館に対するニーズを捉えることは重要なテーマとなります。当財団が独自に実施したインタビュー調査の結果から、若者の旅館に対するイメージを分析・整理してご報告しました。

●第2部 パネルディスカッション 「“瞬間の満足” ⇔ “持続する満足”」

パネラー：吉永由美子氏（伊藤忠ファッションシステム(株)R&Dグループ）

河野隆次氏（コナミスポーツ(株)社長室 コミュニケーショングループ グループ統括マネージャー）

コーディネーター：小林英俊（財団法人日本交通公社 観光マーケティング部長）

ものを買った瞬間に高い満足があるのでしょうか？
消費したあともその満足感は継続するのでしょうか？
消費における当相対感7感じ方にはどのような違いがあるのでしょうか？ また、その違いは何かから生じてくるのでしょうか？
旅行における満足をどのように提供できるのか、そのヒントを探っていきます。

参加者概要

参加者数：209名

(内訳) 一般参加146名、招待39名、JTB24名